



「じんじゅ」らぼ  
〜こころのボランティア〜

スクールサポーター  
(臨床心理士)  
小林 真理

「うちのじやん」

町内の道路には信号機のない横断歩道がいくつもあります。渡ろうとして左右の車を見回していると、渡ろうとする人がいることに気づいて止まってくれる車がいます。黄色い旗を持ってより車に気づいてもらいやすいように待っている人がいたり、急いでいるようにそわそわと待っている人がいたり、友達などと喋りながら車が止まってくれるのをなんとなく待っている人がいたり、渡るまでの様子はそれぞれですよ。

先日、こんな場面を目の当たりにしました。私は横断歩道で止まった車の二台後ろにいたのですが、横断歩道を渡っていたのは3人の女子中学生でした。私から見た中学生は、1日の学校生活を終えて、楽しそうに話しながら帰って

いる途中でした。全く普通の日常としてよく見る笑顔の学校風景でしたが、この時、心に響くような出来事が起こりました。

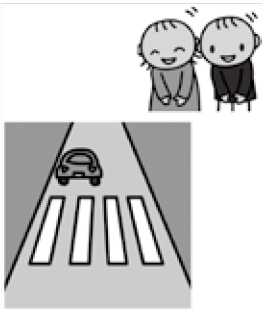
3人は横断歩道を渡り終えると、まるでどこかのアイドルグループが観客に挨拶をするかのように、良い笑顔で、さらに揃った角度で上半身を傾けて、止まってくれた両方の車線の車に向かって挨拶をしていたのです。その爽やかで潔い挨拶は、止まってくれたドライバーに気持ちいい印象を与えているのではないかと、そう思っただ向車線に見える先頭の車のドライバーに目を向けると、1番前で止まっていた他府県ナンバーの車に乗っていた初老のご夫婦らしきお二人は、とてもにこやかに挨拶を受け止めてくれていたように見えました。「渡ろうとしている人がいたから止まったけど、こんな挨拶が返ってくるの嬉しいね」そう話しているようにも見えました。

3人は挨拶をすると、また大きなジェスチャーを交えながら、笑顔で帰っていききました。

このエピソードは、私からみても気持ちのいい誇らしい出来事でした。一方で子ども達からすれば、いつもやっていることをしたただけのことか

もしれません。後日、実際にこの時の3人の内の1人と話したところ、照れ隠しもあつたかもしれないが「いつ? それ。そんなことしたっけ?」というかいつもじゃんと反応が返ってききました。

「自分は同じように感謝の気持ちを行動で表せているかな」と自分を振り返りながら、「そういうえば、以前にも横断歩道で止まった時に、挨拶をしてくれた子がいたな」そんなことを思い出しました。「いつものこと」をできる軽井沢の子どもは、ご家庭や学校、地域の方に見守られながら、感謝の気持ちを行動に表すことができているのでしょうか。私たちは、そんな子ども達から逆に気づかされることもたくさんあります。たかが横断歩道での挨拶の話ではありませんが、人とつながりの機会を活かし、お互いに気持ちのいい関係を作っていくうえで、大切なこととして受け止めていきたいものですね。



けん玉教室を  
開催します

とき 6月24日(日)  
9時から

11時45分まで

ところ 風越公園  
総合体育館

主催 児童館母親クラブ

講師 けん玉パフォーマン  
スコンビ

持ち物 けん玉・上履き・  
飲み物

定員 120名

申し込み

(定員になり次第締め切ります)  
6月16日(土)までに、最寄りの児童館へ申し込んでください。

申し込み・問い合わせ

中軽井沢児童館  
☎45-6515



軽井沢の植物と  
方言 15

オオマムシグサ  
(大塙草)



形は蛇のよう  
オオマムシグサ

町内にも自生し、湿り気のある林等に見られる雌雄異株の多年草です。6月上旬から7月上旬頃、黒紫色の仏炎苞の中に小さな花を多数つけます。

方言と由来等

- ①ヘエビノオッカサ  
ヘエビは蛇が、オッカサはお母さんが転訛したもので、植物の形が蛇を思わせることに由来します。
- ②ヘエビヨロ  
ヨロは百合が転訛したもので、蛇のような百合の意味です。

【参考文献】

佐藤邦雄(1978)  
信州佐久の植物方言

【問い合わせ先】

植物園 ☎48-3337